



平成29年度第2回高松市立病院を良くする会

日時：平成29年11月7日（火） 午後1時から

場所：高松市民病院 西会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 病院事業管理者挨拶
- 3 議 事
 - (1) 高松市病院事業経営健全化計画（平成28年度実績）に係る総括評価について
 - (2) その他
- 4 閉 会

高松市立病院を良くする会設置要綱

(設置)

第1条 医療の質、透明性及び効率性の向上並びに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、高松市立病院を良くする会（以下「良くする会」という。）を設置する。

(職務)

第2条 良くする会は、病院事業の次に掲げる事項について、必要な提言を行う。

- (1) 高松市病院事業経営改革計画の策定、見直し及び進捗状況の評価に関すること。
- (2) 高松市立病院の経営の改善に関すること。
- (3) 市民のための病院の実現に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 良くする会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、病院事業管理者が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 医療関係者
- (3) その他病院事業管理者が必要と認める者

3 委員の任期は、原則として2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任することができる。

(会長及び副会長)

第4条 良くする会に会長及び副会長をそれぞれ1人置き、会長は委員の互選により定め、副会長は委員のうちから会長が指名する。

2 会長は、会務を総理し、良くする会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 良くする会の会議は、会長が招集し、会長は会議の議長となる。

2 良くする会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第6条 良くする会の庶務は、病院局市民病院事務局経営企画課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、良くする会の運営に関し必要な事項は、良くする会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成23年6月1日から施行する。

附 則

高松市立病院を良くする会設置要綱の一部を改正する要綱は、平成24年4月1日から施行する。

高松市立病院を良くする会委員名簿

職名	氏名	役職等
会長	谷田 一久	株式会社ホスピタルマネジメント研究所 代表
副会長	神内 仁	一般社団法人高松市医師会 会長
委員	中村 明美	公益社団法人香川県看護協会 会長
委員	二島 多恵	公募委員 香川がん患者おしゃべり会 代表
委員	藤田 徳子	株式会社フェアリー・テイル 代表取締役
委員	横見瀬 裕保	国立大学法人 香川大学医学部附属病院 病院長
委員	吉田 静子	高松市婦人団体連絡協議会 副会長
委員	和田 頼知	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士

(敬称略 五十音順)

『高松市病院事業経営健全化計画(平成27年度～29年度)』の取組状況 に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書【平成28年度の評価】(案)

平成29年11月7日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質・透明性及び効率性の向上並びに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画」(以下「経営健全化計画」という。)の策定、見直し及び進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成23年6月に設置され、今年で7年目を迎える。

今般、平成28年度の経営健全化計画の取組状況の評価を、次のとおり取りまとめたので報告する。

2 評価結果の総括

平成27年3月に策定した経営健全化計画(27年度～29年度)に定める、高松市立病院の基本理念『生きる力を応援します』の実現に向けて、高松市民病院は「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は「地域まるごと医療の実践」を、香川診療所は「住民参加型医療の提供」を基本的な考え方として、「医療の質・透明性・効率性」の向上に取り組んでいる。

今回の評価対象となる平成28年度は、上記経営健全化計画の中間年度に当たり、評価項目41項目中、全項目が「順調」又は「概ね順調」という結果になっており、一定の成果は認められた。しかし、収益的収支は、塩江分院と香川診療所で黒字となった一方で、市民病院については、内科医師不足や周辺医療機関の開院・改築などの影響により、患者数等が減少したことに加え、資産の収益性の低下等により減損会計を適用したことから、病院事業全体としては大幅な純損失が生じた。

地域に必要な医療を継続して提供していくためには、更なる医師確保による診療体制の強化とともに、患者の確保につながる取組を再検討しながら、あらゆる観点から医療の効率性の確保に努め、経営改善に取り組むことが必要である。新病院開院に向け、「市民に信頼され、市民から選ばれる病院」となるよう取組を進めることを期待したい。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、平成28年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、又は目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組を進め、年度末(一定期間経過後)に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組が不十分又は、取組を進めるものの、年度末(一定期間経過後)に、成果が得られる見込みが少ない。
×	かなり遅れている。	消極的又は、目標達成のための取組ができていない。

(2) 病院・診療所の評価結果

① 高松市民病院

経営健全化計画に係る取組状況については、15項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は4項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は11項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

常勤医師数の増加へつながった医師確保機能の強化や、DMAT整備に向けた着実な取組が進む災害医療機能の強化、地域医療機関への積極的な訪問による地域医療連携の強化などは一定の評価ができるものの、患者数の増加には結びついておらず、依然として厳しい経営状況であることから、これまでとは異なるアプローチを改めて検討する必要がある。

また、重点取組項目の一つとして、がん診療機能の強化を掲げていることから、がんに関連する資格取得者を増やすなど、治療・支援体制の一層の強化に努められたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H28	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	4項目	27%
評価結果『○』とした項目	11項目	73%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	15項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	H28 総括 評価	H27 総括 評価
取組項目(大分類)		
取組項目(小分類)		
1 医療の質の確保		
1 医療技術		
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	○	△
2 医師確保機能の強化	○	△
3 メディカルスタッフ確保機能の強化	◎	○
4 スペシャリストの育成	○	○
5 医療安全の強化	○	○
6 医療品質の向上	○	○
7 災害医療機能の強化	◎	○
2 人間関係		
1 チーム医療体制の充実	○	○
2 市民との信頼関係の強化	◎	○
3 アメニティ		
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	○
4 地域社会		
1 地域医療連携の強化	◎	○
2 医療の透明性の確保		
1 情報の積極的な発信		
1 情報の積極的な発信	○	○
3 医療の効率性の確保		
1 効率化		
1 効率化の推進	○	○
2 管理体制		
1 管理体制の強化	○	○
3 一体化		
1 一体化の推進	○	△
総合評価	○	○

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等					
取組項目(大分類)													
取組項目(小分類)													
医療の質の確保													
医療技術													
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	(1) 救急医療の強化	ア 救急患者の受入れ ○救急車搬送受入件数	△	○	救急患者の受入れについては、受入困難な事例の解消に向けた工夫や取組がなされており、現在の人員で可能な限り受け入れられるよう努めている点は評価できる。今後受入件数を増やすためには、特に専門医の補充に対して行政のより一層の理解を求めていく必要がある。	○	○8	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ困難事例について、解消のための工夫や取り組みはなされていると推察される点であり、その点は高く評価すべきであると考えます。 ・評価的には△としたが、現状のマンパワーから考えると、受け入れ可能な救急を頑張って受け入れており○でも良いように思います。無理な受け入れ体制は医療事故に繋がりがねませんので、受け入れ件数を増やすのであれば、すぐには困難かと思いますが、マンパワー(特に専門医)の補充に対して行政のより一層の理解を求めていく必要があるかと考えます。 ・市民が頼れる病院としてぜひ力を入れてほしい取組み内容です。 					
		○受入不可率	△										
	(2) がん診療機能の強化	ア 診療機能の強化	○がん診療連携研修会開催数	◎					○	がん診療に力を入れていることが伺えるが、医学的な取組やその成果を指標として設定することを検討されたい。	○	○8	<ul style="list-style-type: none"> ・医学的な取り組みと、その成果についての説明があってもよいと思う。 ・がん診療に力を入れていることが伺えます。
		○がん診療関連研修会開催数	◎										
		イ 化学療法に関する体制の強化	○がん化学療法認定看護師配置累計数	◎									
		○がん薬物療法認定薬剤師配置累計数	◎										
		○外来がん治療認定薬剤師配置累計数	×										
		○化学療法に関する勉強会開催数	○										
		○抗がん剤初級・ポート管理研修受講割合	○										
		○がんのリハビリテーション研修の受講生累計数	△										
		ウ 緩和ケアの提供体制の強化	○緩和ケアチームへの紹介患者数	△									
		○緩和ケア研修修了の医師累計数	◎										
		○緩和薬物療法認定薬剤師の配置累計数	×										
		エ がん患者及び家族への支援	○がん相談件数	○									
		○がん患者等との交流数	○										
		オ 地域がん対策の強化	○がん相談支援センター設立	◎									
		○がん相談員基礎研修(3)修了者累計数	◎										
		(3) 地域包括ケアへの対応	○地域包括ケア病棟の開設	○									
			○在宅復帰率の向上	◎									

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)								
取組項目(小分類)								
医療の質の確保								
医療技術								
2 医師確保機能の強化	(1) 医師確保のための工夫	○関連大学への派遣要請による医師増加数	○	○	平成29年度から常勤医師が増えていることは評価できる。今後も医師確保に向けて、高松市民病院ならではの取組ができないか検討されたい。	○8	<ul style="list-style-type: none"> ・高松市民病院ならではのユニークな取り組みはないものか考えてほしい。 ・常勤医師が増加したことは良いことです。 ・徳島大学から5名の受け入れが成功したことは、医師確保の実績としては大成功である。 	
		○寄附講座の開設による派遣医師数(正規職員換算数)	○					
		○医師幹旋業者の照会により採用した医師数	○					
	(2) 女性医師確保に向けた勤務環境の整備	○任期付短時間勤務職員制度による採用医師数	○					
		○臨床研修医(基幹型)受入数	○					
	(4) 協力病院との提携事業の活用	○医師事務作業補助体制加算	○					
		○補助者に対する研修会の開催数	×					
(6) 実習、見学等の受入れの充実(人材育成)	○病院実習生の受入れ	△						
	○病院見学生生の受入れ	△						
(7) その他	○説明会での市民病院への参加学生数	○						
3 メディカルスタッフ確保機能の強化	(1) 計画的な採用及び離職防止	○看護師離職率	○	◎	新規職員の確保のために、実習生の受入れは必要であり、取組も順調に進められているようだが、合わせて正規職員の充足度が満たされているかについても分析すること。	◎5 ○3	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れは順調ですが、正規職員としての充足度が満たされているかが課題。 ・実習生の受け入れは新しいスタッフを得る為に必要です。 	
		(2) 協力病院との提携事業の活用(再掲)	医療技術2(4)参照					
	(3) 実習、見学等の受入れの充実(人材育成)	○看護師の研修実習生	◎					
		○薬剤師の実務実習生	◎					
		○薬剤師の早期体験実習生	◎					
		○検査技師の見学実習生	◎					
		○リハビリテーション技術士の研修実習生	○					
○臨床工学技士の研修実習生	◎							
4 スペシャリストの育成	(1) 資格取得(累計数)	ア 看護局	△	○	スペシャリストの育成は病院の看板として重要であることから、さまざまな疾患に対応可能な状況を作るため、職員の積極的な資格取得を促すこと。特に、がん診療の強化という病院の方針があるのであれば、がんに関連する認定看護師の確保に向けて取り組まされたい。	○6 △2	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな疾患に対応可能な状況をつくるため、職員の皆様の積極的なチャレンジを期待します。 ・認定看護師等の育成にかけては準備中のものが目立ちます。 ・がんの診療強化という病院の目的があるなら、まずはがんの関連する認定看護師の確保が重要。 ・スペシャリストの育成は病院の看板として大切だと思います。 	
		○皮膚排泄ケア認定看護師	◎					
		○手術看護認定看護師	◎					
		○感染管理認定看護師	○					
		○接食嚥下障害看護認定看護師	△					
		○がん放射線療法看護認定看護師	△					
		○透析療法指導看護師	○					
		○認知症看護認定看護師	△					
		○消化器内視鏡技師	○					
		○呼吸療法認定士	○					
		○糖尿病療養指導士	◎					

具体的施策 取組項目(大分類) 取組項目(小分類)	取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
医療の質の確保							
医療技術							
4 スペシャリストの 育成	(1) 資格取得(累計数)	イ 薬剤局 ○抗菌化学療法認定薬剤師	×	前ページ に記載		前ページ に記載	
		○糖尿病療養指導士	◎				
		○NST専門療法士	△				
		○救急認定薬剤師	×				
		○生涯研修認定薬剤師	◎				
		○放射性物質取扱薬剤師	○				
		ウ 検査技術科 ○認定微生物検査技師	×				
		○認定輸血検査技士	○				
		○超音波検査士	◎				
		エ 放射線技術科 ○Ai認定診療放射線技師	◎				
		○X線CT認定診療放射線技師	×				
		オ リハビリテーション技術科 ○心臓リハビリ指導士	×				
		○呼吸療法認定士	△				
		カ 栄養科 ○病態栄養認定管理栄養士	△				
5 医療安全の強化	(1) 医療安全意識の共有 と醸成	ア 医療安全研修等 ○ヒヤリハット報告会の開催数	○	○	患者の安全、職員の安全、来訪者の安全、 地域の安全等、広い視点からの安全管理に 努められたい。職員の針刺し事故が重篤な 結果にならないよう、職員自身が注意するこ と。	○7 △1	・患者の安全、職員の安全、来訪者の安全、地域の安 全等、広い視点からの安全管理をお願いしたい。 ・職員の針刺し事故が重篤な結果とならぬよう、職員の 皆さんには念には念を入れて自身を大切にしていだ きたい。 ・針刺し事故件数「△」はなぜでしょうか？
		○安全管理研修(全体研修)の開催数	○				
		○放射線関係医療安全取扱研修の開催数	○				
		イ 医療安全ラウンド ○医療安全に係る院内ラウンドの実施数	○				
	(2) 感染管理意識の共有 と醸成	ア 感染管理研修等 ○感染管理研修会(全体研修)テーマ別開催数	○				
		○針刺し事故件数	△				
		イ ICTラウンド	○				
6 医療品質の向上	(1) 品質の向上及び他病 院との比較	ア 日本病院会の「QIプロジェクト」への参加	○	○	医療の質については、全国的な指標が高松 市民病院に適合するかどうか十分に吟味し た上で、指標を検討されたい。	◎2 ○6	・医療の質については、まず、自らの考えをまとめて、指 標を検討していただきたい。全国的な指標が高松市民 病院に適合するかどうか、十分に吟味する必要があると 思う。
		イ 全国自治体病院協議会の「医療の質の評価・ 公表等の推進事業」への参加	○				
	(2) クリニカルパスの拡充	○クリニカルパス新規開発件数	◎				
		○クリニカルパス使用件数(電子カルテパスのみ)	◎				

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等						
取組項目(大分類)														
取組項目(小分類)														
医療の質の確保														
医療技術														
7 災害医療機能の強化	(1) 病院災害対策委員会の活動	ア 防災対策訓練等の実施		◎	◎	災害医療機能の強化への取組は市民にとって心強いものである。DMAT整備に向けた今後の取組に期待したい。	◎7 ○1	・DMAT認定時に◎とする。 ・災害医療機能の強化への取組は心強いです。						
		イ DMAT整備に向けた取組み		◎										
人間関係														
1 チーム医療体制の充実	(1) チーム医療の実践	ア 医療安全対策チーム		○	○	様々なチームの活動により、チーム医療の実践が行われていることは評価できる。医師、看護師など、各職員がお互いを理解・尊重しながらチーム医療に取り組んでいるかという点など、アンケート調査により分析を進められたい。	◎1 ○7	・様々なチーム活動がなされていることを確認しました。このような取り組みが一層進化し、拡大することを期待します。 ・チーム医療の実践が行われており、評価できます。 ・形はできていると思います。あとは、医師、看護師がそれぞれお互いを尊敬しながらチーム医療を実践しているかという点、アンケート調査を実施することを薦めます。						
		イ 院内感染対策チーム		○										
		ウ 栄養サポートチーム		○										
		エ 呼吸サポートチーム		○										
		オ 褥瘡対策チーム		○										
		カ 緩和ケアチーム		○										
		キ 糖尿病チーム		◎										
		ク 排泄ケアチーム		○										
		ケ 摂食嚥下チーム		△										
		コ 口腔ケアチーム		○										
		2 市民との信頼関係の強化	(1) 指導・教室の実施	○健康いき教室の開催数						◎	◎	市民との接点を強化することが、市民病院の在り方の一つである。市民への指導や教室の実施により、今後一層信頼関係が強化されることを期待したい	◎5 ○3	・市民との接点を強化することが市民病院の在り方の一つであると考えます。一層の強化を期待します。 ・指導、教室の実施、◎うれしいです。
○糖尿病学校の開催数				◎										
○医療福祉相談の件数				◎										
○受診相談の件数				○										
(2) 相談事業の充実	○入院患者の活用者数			△										
	○入院患者への配布率			△										
	○新規外来患者への配布率			◎										
	○退院調整を要する患者等への実施割合			◎										
1 患者の視点に立ったサービスの提供	(1) 患者満足度調査の実施				○	○	患者満足度の低下を大きな課題として捉え、その要因分析に努めるとともに、患者の視点に立った、より質の高いサービスの提供ができるよう取り組まれたい。	◎7 △1	・きめ細やかな心配りは、新病院にそのまま移転してください。 ・患者満足度が上がらなかったことは、大きな課題と認識している。 ・患者の視点に立ったサービスの◎が増えてほしいです。					
			(2) 待ち時間短縮及び接遇改善	ア 待ち時間の短縮						△				
				○予約患者の待ち時間						○				
	イ 接遇改善の取組み				○									
	(3) 外来でのサービス拡充	ウ クレーム対応能力の向上		○										
		○セカンドオピニオン外来の開設		○										
		○セカンドオピニオンの受入件数		○										
		○セカンドオピニオンに係る診療情報提供件数		○										

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等	
取組項目(大分類)									
取組項目(小分類)									
医療の質の確保									
アメニティ									
1 患者の視点に 立ったサービスの 提供	(4) 病棟でのサービス拡 充	ア 病室の病床数の見直し	○	前ページ に記載			前ページ に記載		
		イ 病棟薬剤業務の充実 ○薬剤師の病棟回診、カンファレンスへの参加数	◎						
		ウ 摂食不良患者への支援 ○病棟訪問件数	○						
		エ 病棟リハビリテーションの実施 ○病棟リハビリテーションの実施割合	○						
		オ 転倒・転落防止対策への取組み	○						
地域社会									
1 地域医療連携の 強化	(1) 地域医療連携セミナー 等の開催	○地域医療連携セミナーの開催数	◎	◎	地域包括ケアシステムの後方支援の中心的 な機関として、連携をさらに進めながら、患者 数の増加に直結する取組を検討されたい。		◎5 ○3	・地域包括ケアシステムの中心的な機関として、連携を 一層進めていただきたい。 ・地域連携の強化が同われますが、新患、入院増加に つながっていないのはなぜでしょうか。	
		○地域医療連携カンファレンスの開催数	◎						
		(2) 重点エリアの連携体 制の強化	○地域医療機関への訪問数						◎
		(3) 初診連絡の徹底によ る連携強化	○返書率						○
		(4) 地域連携クリニカルバ スの積極的な活用	○地域連携クリニカルバスの活用件数						○
		○シームレスケア研修会への参加者数	○						
	(5) 保険薬局との連携強 化	○保険薬局との意見交換会の開催数	◎						
医療の透明性の確保									
情報の積極的な発信									
1 情報の積極的な 発信	(1) 医療事故等の公表		○	○	ホームページはアクセス数を指標とするな ど、評価基準を明確にした指標の設定が必 要である。		○7 △1	・ホームページはアクセス数を指標にすべきである。 ・医療事故等の公表が、「◎」ではないのはなぜでしょ うか？	
		(2) 病院事業経営内容の 公開	○						
		(3) 市政出前ふれあいト ークへの参加	◎						
		(4) 病院広報の拡充	ア ホームページの充実及びメンテナンス						○
		イ 「地域医療連携だより」及び「医師紹介パンフ レット」の発行	○						
医療の効率性の確保									
効率化									
1 効率化の推進	(1) 施設基準の取得	ア がん患者指導管理業務の充実(がん患者指導 管理料3加算)	○	○			◎1 ○7		
		イ 薬剤管理指導業務・病棟薬剤業務の充実(薬 剤管理指導料加算・病棟薬剤業務実施加算)	◎						

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)							
取組項目(小分類)								
医療の効率性の確保								
効率化								
1	効率化の推進	(1) 施設基準の取得	ウ 脳血管疾患等リハビリテーションの充実(脳血管疾患等リハビリテーション料加算)	◎	前ページに記載	ジェネリック医薬品の使用数量など、評価できる項目もあるものの、目標を達成できていないものもある。特に、リハビリテーションの充実、地域包括ケアシステムにとっても重要な事項であることから、“困難である”と決めつけずに、引き続きADLの向上に向けて努められたい。 また、公営企業としてCO2の排出量等、省エネルギー活動へも関心を持たれたい。	前ページに記載	・リハビリテーションの充実は地域包括ケアシステムにとっても重要な事項であると考えます。“困難である”ときめつけずに引き続きADLの向上に努めていただきたい。 ・CO2の排出量についても関心をもっていただきたい。 ・ジェネリックの導入率90%はかなり評価できます。
			エ ADL維持向上等リハビリテーションの充実(ADL維持向上等体制加算)	×				
		(2) 省エネルギー活動の推進	○電力使用量の削減	△				
			○古紙のリサイクル推進	○				
		(3) 適切な診療報酬の請求	○診療報酬請求額の査定率	△				
		(4) ジェネリック医薬品の採用拡大	○ジェネリック医薬品の使用数量割合	◎				
		(5) 効率的な物品管理体制の構築及び調達方法の検討		○				
			(6) 未収金の発生防止と回収促進	ア 公費負担助成制度・預り金制度の周知徹底				
	イ 現年分収納率の向上 ○現年分収納率の向上	○						
	ウ 未収金の回収促進 ○過年度未収金の回収率	△						
(7) 業務改善に向けた積極的な取組み	ア 職員提案の活用	○						
	イ 情報化の促進	○						
(8) 人材配置の適正化		○						
管理体制								
1	管理体制の強化	(1) 病院事業の健全かつ円滑な運営	ア 経営状況等の情報共有	○	前ページに記載	業務実績報告・目標発表会への職員の参加を促すなどして、全体を巻き込むような工夫をされたい。	前ページに記載	・全体を巻き込む工夫をしていただきたい。 ・業務実績報告・目標発表会には、職員の皆様に積極的に参加していただきたいです。 ・医師不足が、時間外勤務を招いているのでしょうか？
			イ PDCAサイクルでの改善取組みの継続	○				
		(2) 業務実績報告・目標発表会の開催	○業務実績報告・目標発表会の職員参加人数	△				
			(3) 経営分析の実施	ア DPC委員会の開催				
				イ DPCを踏まえた経営改善の取組み				
	ウ 近隣市立病院との情報交換・勉強会を活用した病院運営の取組み	○						
(4) 勤務環境の改善	ア 時間外勤務時間の縮減 ○時間外勤務時間の縮減割合	△						
	一体化							
1	一体化の推進	(1) 市立病院間の診療面の連携・協調	ア 医療局	○	前ページに記載	市立病院間の連携を進め、一体としての経営を引き続き行われたい。	前ページに記載	・一体としての経営を引き続き行っていたいただきたい。
			イ 看護局	◎				

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)							
医療の効率性の確保								
一体化								
1	一体化の推進	(1) 市立病院間の診療面の連携・協調	ウ 薬剤局	◎	前ページに記載		前ページに記載	
			エ 検査技術科	◎				
			オ 放射線技術科	◎				
			カ リハビリテーション技術科	×				
			キ 栄養科	○				

(2) 病院・診療所の評価結果

② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は8項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は5項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『◎(計画どおり順調である)』とした。

療養病棟入院基本料1及び在宅復帰機能強化加算の取得により、医療品質の向上に努めつつ、訪問診療や訪問看護等を通じた地域医療の推進に着実に取り組んでいることを評価する。

今後は、歯科衛生士を含めた多職種による訪問診療の積極的な実施など、地域に根差した医療活動が一層充実したものとなるよう引き続き取り組むことで、「地域まるごと医療」のさらなる実践に努められたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H28	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	8項目	62%
評価結果『○』とした項目	5項目	38%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	H28 総括 評価	H27 総括 評価
取組項目(大分類)		
取組項目(小分類)		
1 医療の質の確保		
1 医療技術		
1 地域医療の推進	◎	◎
2 医師等の確保機能の強化	○	○
3 スペシャリストの育成	○	○
4 医療安全	◎	◎
5 医療品質	◎	◎
2 人間関係		
1 チーム医療体制の充実	○	◎
2 市民との信頼関係の強化	◎	◎
3 アメニティ		
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎	◎
4 地域社会		
1 共に支え合う体制の整備	◎	○
2 医療の透明性の確保		
1 情報の積極的な発信		
1 情報の積極的な発信	◎	○
3 医療の効率性の確保		
1 効率化		
1 効率化の推進	○	○
2 管理体制		
1 管理体制の強化	○	○
3 一体化		
1 一体化の推進	◎	◎
総合評価	◎	◎

具体的施策 取組項目(大分類) 取組項目(小分類)	取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等					
医療の質の確保												
医療技術												
1 地域医療の推進	(1) 訪問事業の推進	○訪問診療件数	◎	◎	地域医療への貢献が大いに評価できる。今後も民間事業者の模範となるような取組に期待する。	◎7 ○1	・住民にとって選択肢が増えることはよいことだと思います。民間事業者の模範となることを期待します。 ・地域医療への貢献は大いに評価できます。 ・地域医療の推進がうまく行っていると思います。					
		○訪問歯科件数	○									
		○訪問看護件数	△									
		○訪問リハビリテーション件数	◎									
		○在宅復帰率	△									
	(2) 初期、回復期、慢性期医療の提供	○入院患者への口腔ケア実施回数	◎									
		○療養病棟入院基本料1の取得	◎									
	(3) 療養病棟入院基本料1の取得	○医療区部2、3の割合	◎									
		○在宅復帰機能強化加算の取得	◎									
		○地域ケア小会議等への参加割合	◎									
	2 医師等の確保機能の強化	(1) 寄附講座の活用	○研修プログラムの新メニュー追加件数					◎	○		◎4 ○4	
			○医師の育成					◎				
			○香川大学等からの医師研修実習生受入人数					△				
			○医師の安定確保					◎				
	3 スペシャリストの育成	(1) 資格取得	認知症ケア専門士					○	○	資格取得者の人数については、管理可能な項目であることから、目標達成に向けて、鋭意取り組まれない。	○7 △1	・この項目は、管理可能な項目であることから、厳しく評価した。 ・認知症ケア専門士、介護支援専門士の資格が取得できていれば、「◎」ではないのか？
介護支援専門員			○									
4 医療安全	(1) 医療安全意識の共有と醸成	○医療安全委員会の開催数	◎	◎	医療安全意識が高く、計画通りに進められている。	◎6 ○2	・計画通りである。 ・医療の安全意識が高い。					
		○安全管理研修会(全体研修)の開催数	◎									
	(2) 感染管理意識の共有と醸成	○感染予防委員会の開催数	◎									
		○感染管理研修会(全体研修)の開催数	◎									
		○針刺事故件数	○									
5 医療品質	(1) 学会や研修会での発表	○研究発表・論文発表件数	◎	◎		◎7 ○1						
人間関係												
1 チーム医療体制の充実	(1) チーム医療の実践	ア NST(栄養サポートチーム)	○	○		○8						
		○入院患者の経口摂取割合	○									
		イ 褥瘡対策チーム	○									
		○院内褥瘡発生件数	○									
		ウ 身体拘束廃止対策チーム	△									
		○拘束の割合	△									
		エ 地域包括ケア推進チーム	△									
		○地域ケア小会議等への新規提案件数	△									
オ 摂食嚥下チーム	◎											
カ 口腔ケアチーム	◎											

具体的施策 取組項目(大分類) 取組項目(小分類)	取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
医療の質の確保							
人間関係							
2 市民との信頼関係の強化	(1) 教室・講座の実施	○地域住民対象の栄養教室開催数	◎	◎	市民との信頼関係が確立されていることがうかがえる。「私のカルテ」の継続、発展や、訪問診療及び看護への歯科衛生士同行回数を増やすなどして、より充実した取組となることを期待したい。	◎8	・歯科衛生士の同行回数が未達となった点が残念。 ・私のカルテの継続、発展を期待しています。 ・歯科衛生士同行回数が「○」なのはなぜか？ ・信頼関係のよさがうかがえる。
		○出張健康講座等開催数	◎				
	(2) 相談・指導事業の拡充(訪問診療、訪問看護への同行)	ア 薬剤師同行回数	◎				
		イ 放射線技師同行回数	◎				
		ウ 管理栄養士同行回数	◎				
		エ 歯科衛生士同行回数	○				
		オ 退院患者の病棟看護師近況確認率	◎				
(3) 「私のカルテ」の推進	○発行累計数	◎					
(4) 退院調整会議の充実	○退院調整を要する患者等への実施率	◎					
(5) 「ほたる通信」の発行	情報の積極的な発信1(3) P18参照						
アメニティ							
1 患者の視点に立ったサービスの提供	(1) 患者満足度調査の実施		◎	◎		◎8	
		(2) 接遇改善の取組み					
	(3) 外来でのサービス拡充	ア 患者輸送車運休回数	◎				
		イ 院内企画展示用提供作品数	○				
	(4) 病棟でのサービス拡充	○栄養指導件数	◎				
		○管理栄養士病棟訪問件数	◎				
		○行事食提供回数	◎				
地域社会							
1 共に支え合う体制の整備	(1) 病院・介護保険施設等との連携	○幹部職員の訪問施設数	◎	◎	地域社会との連携が順調に進んでいる点を評価する。塩江地域唯一の医療機関として、関係施設及び地域住民との連携が一層充実したものとなることを期待したい。	◎6 ○2	・取り組みとその成果については高く評価するが、◎にするにはもう一歩。 ・地域社会との連携も順調に行われており、評価できます。 ・地域社会との連携を積極的に取り入れているのがうらやましい。
		(2) 地域社会との連携	○住民ボランティア受入人数				
	○地元イベント参加・派遣看護師延べ人数		○				
	○病院文化祭の来場者数		◎				
	○院内の企画展示用提供作品数 アメニティ1(3)イ P17参照						
	○経営戦略会議の住民参加人数 情報の積極的な発信1(2) P18参照						

具体的施策 取組項目(大分類) 取組項目(小分類)	取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等	
医療の透明性の確保								
情報の積極的な発信								
1 情報の積極的な 発信	(1) 医療事故等の公表		◎	◎	住民参加の取組は高く評価できる。	◎8	・住民参加の取り組みを高く評価する。	
	(2) 住民参加会議の開催	○経営戦略会議住民参加人数	○					
	(3) 「ほたる通信」の発行	○「ほたる通信」発行回数	◎					
医療の効率性の確保								
効率化								
1 効率化の推進	(1) 省エネルギー活動の推進	○電力使用量削減率	○	○	診療報酬請求額の査定内容について、その妥当性の検証と対応に努められたい。	○8	・査定内容について、その妥当性の検証と対応を進めていただきたい。	
	(2) 適切な診療報酬の請求	○診療報酬請求額査定率	△					
	(3) ジェネリック医薬品の採用拡大	○ジェネリック医薬品使用数量率	◎					
	(4) 未収金の発生防止及び回収促進	ア 現年分収納率の向上	○現年分収納率					◎
		イ 未収金の回収促進	○過年度未収金回収率					○
(5) 人材配置の適正化		○						
管理体制								
1 管理体制の強化	(1) 病院事業の健全かつ円滑な運営		○	○		○7 △1		
	(2) 業務実績報告・目標発表会の開催	○業務実績報告・目標発表会職員参加率	○					
	(3) 勤務環境の改善	ア 時間外勤務時間の縮減	○時間外勤務時間縮減率					△
一体化								
1 一体化の推進	(1) 市立病院間の診療面の連携・協調	ア 医療局	◎	◎	市立病院間の連携を進め、グループ経営の利点を一層発揮されたい。	◎8	・グループ経営の利点を一層発揮していただきたい。	
		イ 看護局	◎					
		ウ 薬局	◎					
		エ 医療局(検査技術)	◎					
		オ 放射線技術部門	◎					
		カ リハビリテーション部門	○					
		キ 栄養部門	◎					

(2) 病院・診療所の評価結果

③ 香川診療所

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は9項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は4項目、『△(やや遅れている)』及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『◎(計画どおり順調である)』とした。

これまでの診療に加え、健康教室や出張講座の積極的な実施、患者との診療情報の共有を図る「わたしのかかるて」の推進など、地域包括ケアを見据えた「住民参加型医療」の実践に取り組み、地域社会との信頼関係構築に努めていることを評価する。

今後は香川診療所で培った経験を新病院へ引き継ぐとともに、幅広い視点での医療の効率性確保に向けた取組に期待したい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H28	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	9項目	69%
評価結果『○』とした項目	4項目	31%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	H28 総括 評価	H27 総括 評価
取組項目(大分類)		
取組項目(小分類)		
1 医療の質の確保		
1 医療技術		
1 地域に密着した医療の提供	◎	◎
2 医師等の確保機能の強化	◎	◎
3 医療安全の強化	○	○
4 医療品質の向上	○	○
2 人間関係		
1 市民との信頼関係の強化	◎	○
3 アメニティ		
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	○
4 地域社会		
1 住民参加の医療	◎	◎
2 地域医療連携の強化	◎	◎
3 子どもたちの健やかな成長への貢献	◎	◎
2 医療の透明性の確保		
1 情報の積極的な発信		
1 情報の積極的な発信	◎	◎
3 医療の効率性の確保		
1 効率化		
1 効率化の推進	○	○
2 管理体制		
1 管理体制の強化	◎	◎
3 一体化		
1 一体化の推進	◎	◎
総合評価	◎	◎

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等	
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)								
医療の質の確保									
医療技術									
医療の質の確保	1 地域に密着した医療の提供	(1) 総合診療の取組と高齢者医療の充実	○眼科手術件数	◎	◎	計画目標項目にない取組も多く行われており、地域に密着した医療が展開できている。地域包括ケアシステムの担い手としての経験を新病院移転後も継続されたい。	◎8	・計画目標項目にはない取り組みが多く行われているようである。地域包括ケアシステムの担い手としての経験を新病院移転後も継続していただきたい。 ・地域に密着した医療が展開できています。 ・わんコイン健診受入件数が「△」なのはなぜでしょうか？ ・地域に密着した医療が来ている。	
		(2) 小児医療の充実	○小児予防接種実施件数	◎					
			○夜間救急診療実施日数	◎					
			○特定健康診査等受入件数	◎					
		(3) 予防医療の推進	○インフルエンザ予防接種実施件数	◎					
	○わんコイン健診受入件数		△						
	(4) 地域包括ケアへの対応			◎					
					◎				
	2 医師等の確保機能の強化	(1) 寄附講座の活用			◎	◎	地域包括医療学講座を実践教育の場としてさらに活用を進め、地域医療に貢献できる人材の育成が図られることを期待する。	◎6 ○1	・地域医療学の実践教育の場としての活用が一層進むことを期待する。
		(2) 実習、見学等の受入れの充実			○				
	3 医療安全の強化	(1) 医療安全意識の共有と醸成	医療安全研修開催数		○	○		○8	
			(2) 感染管理意識の共有と醸成	○感染管理研修開催数					
			○針刺事故件数		◎				
4 医療品質の向上	(1) 診療所幹部によるラウンドの徹底			○	○		○8		
		(2) 学会や研修会での発表	○研究発表・論文発表件数						○
人間関係									
人間関係	1 市民との信頼関係の強化	(1) 「私のカルテ」の推進	○発行累計数	◎	◎	「私のカルテ」の推進及び教室・講座の積極的な開催が、市民との信頼関係構築につながるだけでなく、医療水準の向上にも寄与していることを高く評価する。	◎5 ○3	・医療水準の向上に寄与しているものと高く評価した。 ・「私のカルテ」の推進が来ている。 ・教室・講座を積極的に受け入れている。	
			○小児科活用率	◎					
			○小児科以外活用率	×					
		(2) 教室・講座の拡充	地域社会1(1) P69参照	◎					
アメニティ									
アメニティ	1 患者の視点に立ったサービスの提供	(1) 患者満足度調査の実施		◎	○		◎3 ○5		
			(2) 待ち時間短縮及び接遇改善	ア 待ち時間の短縮					
		イ 意見箱の設置							◎
		ウ 接遇改善の取組							○
		(3) 外来のサービス拡充	○診療所内企画展示用提供作品数						◎
地域社会									
地域社会	1 住民参加の医療	(1) 教室・講座の拡充	○健康教室開催数	◎	◎	出張講座の開催数の多さは、市民に対する市立病院の役割を象徴するものであり、高く評価する。	◎8	・出張講座の回数の多さは、市民に対する市立病院の役割を象徴するものであり、高く評価する。 ・出張講座、各地域より感謝の声が届いています。	
			○出張講座開催数						◎

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	H29.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)							
医療の質の確保								
地域社会								
2	地域医療連携の強化	(1) 近隣医療機関や市民病院等との連携	○逆紹介患者数	◎	◎	目標数値には現れない取組がなされており、高く評価できる。	◎7 ○1	・目標数値には現れない取り組みがなされており、目標未達ではあるが順調と評価した。
3	子どもたちの健やかな成長への貢献	(1) 学校医としての活動	○学校医指定校数	◎				
医療の透明性の確保								
情報の積極的な発信								
1	情報の積極的な発信	(1) 医療事故等の公表		◎	◎	住民への情報発信は良く行われているものと評価する。	◎8	・他の項目からも明らかなように、住民への情報発信はよく行われているものと評価する。
		(2) 住民参加会議の開催	○経営戦略会議住民参加人数	◎				
		(3) 広報活動		◎				
医療の効率性の確保								
効率化								
1	効率化の推進	(1) 省エネルギー活動の推進	○電力使用量削減率	○	○	単なる経費節減ではなく、公営企業として環境保全への貢献に着目するなどして、幅広い観点から効率化に向けて取り組まれたい。	○8	・省エネルギーは単に水光熱費の節減にあるのではなく、公営企業として環境保全への貢献に着目していただきたい。 ・「効率化の推進」のカテゴリーは、他分野に比較して、「◎」が少ないように感じますが・・・。
		(2) 適切な診療報酬の請求	○診療報酬請求額査定率	○				
		(3) 未収金の発生防止及び回収促進	ア 現年分収納率の向上 ○現年分収納率	◎				
			イ 未収金の回収促進 ○過年度未収金回収率	○				
		(4) 人材配置の適正化		◎				
管理体制								
1	管理体制の強化	(1) 病院事業の健全かつ円滑な運営		◎	◎		◎7 ○1	
		(2) 業務実績報告・目標発表会の開催		○				
		(3) 勤務環境の改善	ア 時間外勤務時間の縮減 ○時間外勤務時間縮減率	◎				
一体化								
1	一体化の推進	(1) 市立病院間の診療面の連携・協調	ア 医療局 イ 看護局 ウ 検査技術部門 エ 放射線技術部門	○ ◎ ◎ ◎	◎	市民病院からの支援が目立つが、香川診療所側から市民病院への働きかけも行き、双方向的な連携が取れるよう取り組まれたい。	◎7 ○1	・市民病院からの一方的な支援が目立つ。一体であるから、香川診療所から市民病院に対しての働きかけが必要と考える。